

馬場ひでゆきの活動日誌

No.45

山間地の病院は？

決算特別委員会



10月29、30日、県議会で企業会計決算特別委員会が開催されました。企業会計は県営事業に係るものです。

この委員会で、私は県立病院の経営状況について質問しましたのでご報告します。なお、公立病院の令和5年度の決算状況は、私の日誌44号で紹介しています。それも併せて読んでもらえると、私の質問の身も理解していただけたと思います。

馬場 来年、県立病院の運営資金が来年枯渇するかもしれないとのことだが、病院会計は、県の一般会計から毎年繰入がされている。問題ないのではないかと？
経営企画課長 一般会計から繰り入れが許されるのは、地方公営企業法に基づいて救急医療やへき地医療にかかる経費など、その経営に伴う収入のみで経費を賄うことが困難な場合のみである。だから、繰入金を無制限に増やせるということではない。
馬場 県立病院でも山間地の病院が人件費の割合が高く、病床利用率も低い。経営改善は必要

だが、人口減少の中で難しいのではないかと。

経営企画課長 そうはいつても、類似規模の他の公立病院と比較しても数値が悪く、改善の余地はある。県は、経営改善の観点から、坂町病院の病棟廃止、リウマチセンターの新発田病院への統合を決めた。

馬場 しかし、山間地の病院の場合、経営の合理化をしても限界がある。一般会計からの繰入金を増やす、当該病院の立地自治体との間で財政負担を協議するなどが必要ではないのか。
経営企画課長 一般会計からの繰入金金は、昨年度は164億円、10年前が117億円で増加傾向だ。令和6年度予算でも病院事業への支出額が大きな割合を占めていてこれ以上の増額は非常に厳しい。

財政負担は、お願いするにしても相手自治体に納得していただく必要がある。現在、地域規模の適正化を含めて地域医療構想調整会議などで検討をしている。運営や財政負担の在り方も今後検討の俎上にあがるものと考えている。

目標 17110

住民投票 11月26日現在 3431票 (県民投票) まだまだこれからです！
 柏崎刈羽原発再稼働の署名活動。11月26日現在 3431票 (県民投票) まだまだこれからです！

11月26日現在 3431

11月16日～11月29日

●11月16日 糸魚川市日本共産党後援会「秋の交流会」(柵口温泉 山城屋、本号裏面)



- 19日 上越地域振興行政懇談会(上越地域振興局、44号参照)
- 20日 上越ケーブルビジョン株式会社・創立40周年記念祝賀会(デュオ・セレッソ)
- 21日 県議会・防災・脱炭素社会づくり特別委員会・温室効果ガス排出削減に向けた取組について
- 22日 全国権利擁護支援ネットワーク研修会(市民プラザ)
- 23日 ミニ県政報告会「おしゃべり会」大潟区開催(大潟区、本号裏面)
- 24日 第4回・上越★農業映画祭(高田世界館、本号裏面) すぐく元気が出る映画祭、来年も楽しみです。
- 25日 県議会決算特別委員会
- 29日 新潟県民主医療機関連合会の新潟県に対して診療報酬の再改定、補助金の財政措置を求める要請行動に同行(県庁)



私の推し本その19

暉峻 淑子著「豊かさとは何か」（岩波新書）

弁護士になりたての頃、過労死の事件に関わりました。亡くなったのは地方テレビ局のデスク。人手不足で雑多な仕事を抱え込み、月100時間を超える残業、帰宅はいつも12時超えというひどい業務でした。出張先で倒れて死亡、遺されたのは奥さんと小学生の一人娘。切なかったです。

その頃に読んだのがこの本です。暉峻さんは、労働者のアンケート結果で、月100時間近くの残業時間がある人でも帰宅してから就寝するまでに1時間半の時間があることに着目し、「どんなに遅く帰っても、睡眠時間を犠牲にしても、人間は、帰宅後、一時間半の時間を必要としていることである。つまり、勤労者は、帰宅して、夕食を食べたり、テレビや新聞を見たり、入浴したり、夫婦で会話を交わしたり、家庭内のこまごましたこと、身のまわりをすることによって、「自分自身をようやく回復させる最低限の時間」を過ごしていることがわかる」と論じました。

この一節で、何気ない日常の営み事が、実は自分自身を取り戻す重要な意味をもっていることに気づかされました。そして、その日常的な営み事を経済学という学問に作り上げていく暉峻さんの仕事もさすがだなあと。

暉峻さんは、「現実の生活からしか学問は生まれない」と言っています（2024年10月7日付朝日新聞「語る・人生の贈りもの」）。そのとおりですね。



大潟区は広い海岸と大きな池もあって県外から釣り人がたくさんきてくれてうらやましいと思います。この話にはびつきましたので、



★農業映画祭が開催されました。第1部は、4本の映画上映、その一つ『人間の住んでいる島』は、米軍占領の沖縄伊江島で農民とともに非暴力の土地闘争を行った阿波根昌鴻さんのドキュメンタリー。彼の「命は宝」と全身全霊で伝える姿が強烈に伝わってきました。

11月24日、高田世界館で上越★農業映画祭が開催されました。第1部は、4本の映画上映、その一つ『人間の住んでいる島』は、米軍占領の沖縄伊江島で農民とともに非暴力の土地闘争を行った阿波根昌鴻さんのドキュメンタリー。彼の「命は宝」と全身全霊で伝える姿が強烈に伝わってきました。

私が先日大潟港に行った際、防波堤に県外からの釣り人で賑わっていたことを話したところ、参加者からは「釣りを楽しむのはいいけれど、ゴミをそのまま海岸に捨てていく」との発言がありました。ゴミの収集は地元の方々がボランティアとしてしているが、その量も多いということでした。

意見交換をしました。



青い矢印がポイ捨てされたゴミ

そこ、集会後に海岸線を通って帰りました。海岸道路脇の法面の草むらにはコンビニの袋に入ったゴミや弁当の殻、ペットボトル、段ボールなど数メートルの間にいくつも落ちていました。何とかしなければ。

第4回上越★農業映画祭

最後にスタッフ全員がステージに上がって「久比岐の里」を熱唱。川谷集落で農業をしている天明さんや嶋谷さんが農業への熱い思いを語ってくれました。来年も楽しみです。



平澤さん「農業やってきてよかった！」

「宮沢賢治が好き」というResonasiaの歌、吉川区のトマト農家山岸協慈さんのギターソロ、そして平澤栄一さんのフォークソング、ステキでした。

糸魚川市日本共産党後援会・秋の交流会

11月16日、柵口温泉山城屋にて糸魚川市日本共産党後援会主催の「秋の交流会」に招かれてお話をしました。

糸魚川の皆さんとは戦争法反対の運動の頃からずっと交流してきましたが、県政の報告は今回が初めてでした。久しぶりの再会です。みんな歳とったなあ。でも、みんな元気です！来年は糸魚川市議会議員選挙もあるとのこと。立候補予定者の熱き思いもお聞きしました。ともに頑張りましょう！

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイアパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp